

『日本語を学び・日本語を教えるー中国人教師の生活と意見』

『日本人の見た中国の暮らしと人々ー覗き見た中国社会』

学習講演会のご案内

京都・大阪に留学中のお2人の福州大学外国学院日本語学科の2人の女性教員にその元同僚の日本人男性教師2人のコラボによる現代中国社会論です。

中国で日本語を学び、日本語を教えている経験をもとにした中国人の学生生活・教師生活をお話いたします。日本語を学ぶ学生の夢と日常生活、教師の苦勞と夢を語ります。

定年退職者である日本人の2人は、かなり長期にわたり福州で暮らした経験をもっています。

福州でみた中国の暮らし、中国社会の今の一端に触れます。日中関係は、政府間の関係、産業界の関係、両国民の交流関係などに分化しており、政府間の関係は対抗、産業界は共栄、市民間は友好と協力の関係が基軸となっています。

近年、喜ばしいことは中国と日本の学生が相互に大規模に留学し交流し合い、中国・台湾・香港から1000万人を超える訪日観光客が出現したことです。両国民の間に言語・文化の壁をはじめ様々な障壁がありますが、両国民の日常レベルの接触、理解、絆が着実に深まっています。

中国人の生の声を流暢な日本語で聴ける貴重な機会です。あなたの参加をお待ちしています。

日時: 2017年4月23日(日)午後2時~4時30分

場所: カフェ「TATRA」(タトラ)2階

*光明寺の近くです。長岡京市粟生6反田1-2

スピーカー:

- ① 葛茜さん(福州大学講師)
(博報財団スカラシップ招聘研究者)
- ② 黄鶯さん(福州大学講師・大阪大学留学中)
- ③ 太田勝祐さん(元福州大学外国人教員)
- ④ 井手啓二さん(元福州大学客員教授)



定員: 50名 参加費: 500円

*なるべく事前の下記までお申し込み下さい。

*事前申込者優先入場で、当日参加も歓迎ですが、当日参加は先着順です。

《連絡・申込先》

日中友好協会京都府連合会乙訓地域連絡会

京都現代中国研究所(所長:横井和彦同志社大学経済学部教授)

TEL:075-951-1880 FAX:075-951-1880